

A1 一人称・二人称から見た接尾辞「がる」の用法について

(予稿集) - BCCWJのデータを手掛かりに一尾藤真裕 (埼玉大学教養学部4年)

1. 日本語教育における接尾辞「がる」

人間の感情や感覚を表す形容詞→人称制限がある

- (1) *彼女は悲しい。(作例)
 (2) 彼女は悲しがっている。(作例)
 三人称と接尾辞「がる」の関連を中心に扱う

2. 問題意識

実際には一人称・二人称と接尾辞「がる」も共起

- (3) 私は幼い頃、ぬいぐるみを欲しがっていた。(作例)
 (4) なぜ君がそんなに悲しがるのかわからない。(作例)
 →一人称・二人称の使用実態は？

3. 研究目的と調査方法

研究目的：一人称・二人称と接尾辞「がる」の共起関係に焦点を当てて、使用実態を調査し、用法について記述する。

使用データ：『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(通常版)

▶ 検索アプリケーション『中納言』

下記2種の検索方法で計8601件抽出、検索対象の指定はなし

①キー：指定しない 後方共起：語彙素「たがる」、品詞「助動詞」▶【6113件抽出】

②キー：指定しない 後方共起：語彙素「がる」、品詞「接尾辞-動詞的」▶【2488件抽出】

考察対象7815件

4. 調査結果

表1 人称別接尾辞「がる」の割合

	一人称	二人称	三人称	合計
用例数	685	631	6499	7815
割合	8.76%	8.07%	83.16%	100%

【表1】三人称の割合が高いが、一人称、二人称の用例も見られる。

表2 一人称における発話文の割合

	発話文	それ以外	合計
用例数	171	514	685
割合	24.96%	75.03%	100%

表3 二人称における発話文の割合

	発話文	それ以外	合計
用例数	332	299	631
割合	52.61%	47.38%	100%

【表2】【表3】

- 一人称は括弧(「」)を用いた発話文に出現する割合は全体の約2割
- 二人称は発話文に出現する用例が半数以上を占める

表4 一人称における前接形容詞

順位	形容詞	用例数	割合
1位	可愛い	152	24.83%
2位	怖い	80	13.07%
3位	嫌	73	11.93%
4位	面白い	52	8.50%
5位	欲しい	44	7.18%
6位	羨ましい・恥ずかしい	各19	3.10%
7位	悔しい・意気な	各13	2.12%
8位	不思議な・強い	各12	1.96%
9位	寂しい	11	1.80%
10位	嬉しい・残念な・ウザい	各9	1.47%
10位までの合計		527	86.11%

表5 二人称における前接形容詞

順位	形容詞	用例数	割合
1位	怖い	161	29.65%
2位	可愛い	115	21.18%
3位	嫌	51	9.39%
4位	恥ずかしい	47	8.66%
5位	欲しい	43	7.91%
6位	面白い	15	2.76%
7位	羨ましい	12	2.21%
8位	面倒臭い	9	1.66%
9位	悔しい	8	1.47%
10位	嬉しい・有り難い	各7	1.29%
10位までの合計		475	87.47%

5. 用法

一人称

◆意志の表出

- (5) 悔しいですよ。僕もテニスの試合で負けたときは心の底から悔しがりました。
 (1 哲学『松岡修造のカッコいい大人になるための7つの約束』LBt1_00037,6530)

◆引用

- (6) 「じゃあ、どうして彼はあなたにわたしのことを知らせたのかしら?」「僕が知りたがると思ったんだろう。…」
 (9 文学『この胸の安らぎ』PB59_00113, 23070)

◆自分の性格・性質を客観視

- (7) 所有、というのはいい言葉だ。欲の多い私はすぐに物を所有したがる。
 (9 文学『蛇にピアス』OB6X_00256, 77930)

二人称

◆決めつけ

- (8) 「みんなで暗い顔をして、西条は喜ばないよ。みんなが楽しい時間を過ごすのが、西条にとって一番いい供養なんじゃないか」「お前は、すぐそうやってバランスを取りたがるんだよ」
 (9 文学『揺れる夏追憶の橋』LBm9_00128, 75630)

◆助言・命令・禁止

- (9) 「地元、地元っていきがるなよ。だいたい、この中にいる人のことを、あんたたち、どの程度知ってるの?」
 (9 文学『15秒』PB29_00274, 20410)

◆問い

- (10) 「あんた、何者なんだ、ドビー?どこからきた?」「なんで知りたがる?」
 (9 文学『遠い国の犯罪』LBa9_00118,69960)

◆確認

- (11) アリシアは大人の奇妙な振る舞いについて考えた。それからドジソン氏を見た。「あなたは面白がっていないのね?」
 (9 文学『マーベリー嬢失踪事件』LBn9_00165, 38050)

6. 参考文献

- 韓金柱(2010)「現代日本語における接尾辞「がる」の意味・用法 様態の「そうだ」と比較して」『言語・地域文化研究』16、東京外国語大学大学院、pp.271-284
 長友文子(2000)「「たい・たがる」再考-「い・がる」での教え方」『和歌山大学教育学部紀要 人文科学』50、和歌山大学教育学部、pp.1-10
 西尾真弥(1975)「第6章「ほくは悲しい」けれど「彼女は悲しがる」」『日本文法の見えてくる本』汐文社、pp.81-96
 グループジャマシイ(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版、pp.95
 中西久美子、坂口昌子、大谷つかさ、寺田友子(2020)『使える日本語文法ガイドブック-やさしい日本語で教室と文法をつなぐ』ひつじ書房、pp.36

参考データ

コーパス検索アプリケーション『中納言』ver.2.4.5 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/>